

競技注意事項

1. 競技規則について

2023年度日本陸上競技連盟規則および本記録会要項・競技注意事項・申し合わせ事項による。

2. 開門時刻 7:00

3. 練習について

(1) 練習は指定された場所で実施すること。

練習時間については下記のとおりとする。 ※状況により変更する場合もある。

メイン競技場	【7:00～9:00】 トラック 【7:00～9:00】 跳躍 【7:00～9:00】 砲丸投	1～2レーン 中・長距離 3～5レーン 短距離・リレー (ホームストレート)6～9レーン ハードル (バック～第3コーナー)8・9レーン ハードル
雨天練習場		天候によっては、使用方法を制限する。
サブ競技場	【8:00～16:00】 トラック・跳躍 (幅・三段)	1～2レーン 中・長距離 3～6レーン 短距離・リレー (ホーム)7～8レーン ハードル (バック～第3コーナー)5・6レーン ハードル

(2) メイン・サブ競技場では、逆走ならびに器具(ミニハードル、マーカー、チューブ等)を使用した練習は禁止する。

(3) 安全に留意し、原則顧問の監督下で行うこと。

(4) ハンマー投、円盤投、やり投、ジャベリックスローは、招集完了後、競技場内で係員の指示により練習する。

(5) 投てき器具(デインボール等)を使用する練習は事故防止のため禁止する。

(砲丸投ピットでの砲丸投の練習を除く)

4. 招集について

(1) 招集開始および完了時刻は右記のとおりとする。

(2) 選手は、招集時刻に競技開始場所に集合し、役員にアスリートビブスを見せて確認を受ける。(招集所はない)
招集開始から完了時刻にのみ点呼を行う。なお、招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなす。

(3) リレーについて

オーダー用紙は、雨天走路北側倉庫に用意する。

各種別の1組の招集完了時刻1時間前までに所定の場所に提出する。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始15分前	競技開始 5分前
跳 躍	競技開始30分前	競技開始20分前
棒 高 跳	競技開始50分前	競技開始40分前
投 て き	競技開始30分前	競技開始20分前

5. アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部につける。

ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか一方でもよい。

(2) 1500m・3000mに出場する競技者は腰ナンバーを右腰臀部につける。

腰ナンバーは、スタート付近で受け取り、ゴール後ただちに返却する。

6. 競技について

(1) スタートの合図は「On Your Marks」「Set」のイングリッシュコマンドとし、不正スタート1回で失格とする。

(2) リレー競技について、同一団体から2チームを申し込んだ場合、チーム間で競技者の移動はできない。

(3) セパレートレーンで行う競技では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(4) フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)は3回の試技とする。

(5) 走高跳・棒高跳の競技開始の高さおよびバーの上げ方については、現地の役員の指示に従うこと。

(6) 競技用具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

ただし、やり・棒高跳用ポールについては、審判員の検定を受け合格した物に限り使用することができる。

検定は、棒高跳用ポールは現地で、やりは競技開始の60分前にフィニッシュ付近の器具倉庫において行う。

(7) スパイクシューズのピンはオールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。

ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

(8) 靴底の厚さは、800m未満のトラック種目：最大 20mm、800m以上のトラック種目：最大 25mm とする。

フィールド競技用シューズの靴底の厚さ確認のための計測は、不要とする。

(2024年10月までの適用除外措置による。)

7. その他

(1) 競技会の参加者氏名・所属および成績等については、島根陸上競技協会ウェブサイトおよび新聞等に掲載される。

(2) 発病・負傷については、応急処置以外の責任は負わない。

(3) 貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。紛失の責任は負わない。

- (4) 更衣室は使用できるが、更衣は速やかに済ませ、長時間滞在しない。シャワーの使用は禁止する。
- (5) ゴミは各自責任を持って持ち帰ること。